

## 出題のねらい

### ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、適切に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

### イ. 各問いごとのねらい

- ① 論理性を重んじる科学の場合を例示しながら、制御不能な要素に囲まれた人生における創造性について論じた説明的な文章によって、文脈に即しての読みとりや言葉の知識、具体例の意味、文章構成を考慮しつつ内容や筆者の主張を読みとる力をみるとともに、それを適切に表現する能力をみる。
- ② 「枕草子」「拾遺集」の各一節を利用し、古代・中世の人の音に関する文化的意味づけを考察した文章によって、日本文化に由来する言葉の読みや意味、古典の内容やそれに関連した現代文の理解の程度、及び古代の音の文化的意味づけをまとめた的確に表現する能力をみる。
- ③ きかん坊の小一の弟が妹に寄せる不器用な愛を、ユーモアとペーソスのにじむ表現で優しくみつめた文学的文章によって、場面状況や登場人物の一面的でない複層的な心情を、想像力を働かせながらも表現に着目して読みとり、それを的確に表現する能力をみる。